

2025年5月28日配信

## 【5月30日はごみゼロの日】捨てるだけじゃない廃棄物の使い道

株式会社サンックスホールディングス（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 宗政 寛）は、資源循環型社会の実現を目指し、日々の事業を通じて、環境負荷の低減に取り組んでいます。5月30日「ごみゼロの日」にあわせ、当社が行っている資源循環領域事業の取り組みを一部ご紹介します。

### 廃プラスチックをエネルギーに

当社では、全国各地の工場で産業廃棄物系の廃プラスチックを選別・加工し、石油や石炭の代替燃料として活用しています。当燃料は石炭と比べ発熱量が高く、CO<sub>2</sub>排出量や焼却灰発生量を抑えることが可能です。

当社グループ所有の発電所では、当燃料を活用し、化石燃料に頼らない発電と電力供給を行っています。



<廃プラスチック燃料>

### グリストラップ汚泥を重油の代替燃料に

飲食店などから排出されるグリストラップ汚泥（厨房排水中の油分や残さ）も、当社では貴重なエネルギー源として活用しています。グリストラップ汚泥の油分のみを分離・回収し、重油の代替燃料「再生油 Bio®」として製品化。原料となる食用油は動植物性由来のため、CO<sub>2</sub>排出量が実質ゼロとなるカーボンニュートラル燃料として利用できます。

廃棄物の削減とCO<sub>2</sub>削減を同時に実現する環境に配慮した取り組みです。



<再生油 Bio®>

### ペットボトルキャップから願いをつなぐ

リサイクルの啓発活動として、各地のイベントでペットボトルキャップを活用したリサイクル体験を実施しています。当社が協賛している「サンックスワールドラグビーユース交流大会 2025」では、回収したペットボトルキャップを加工し絵馬を制作。出場選手や来場者に願いや夢を記してもらいました。

絵馬文化に馴染みのない海外選手には、日本選手が教えてあげることで、国際交流の場にもなりました。



<大会選手・来場者が掲げた絵馬>